

平成22年度

決定

三重県知事表彰

三重県では、男性も女性も各々が持てる力を十分に発揮できる「働きがい」のある職場環境づくりを目的に、「男女共同参画」や「仕事と生活の調和」、「次世代育成支援」などに積極的に取り組む企業を「男女がいきいきと働いている企業」として表彰しています。

本年度は「表彰制度」に加え「認証制度」を創設し、応募対象を営利を目的とする企業だけではなく、非営利を含む法人にまで広げ、平成22年10月1日付けで「認証制度」に登録された企業（法人）を表彰候補とし、10月20日（水曜日）に開催しました選考委員会による審査の結果を受けて、受賞企業（法人）を決定しました。

《選考委員会奨励賞》

財団法人 食品分析開発センター **SUNATEC**



【代表者】 理事長 庄司 正

【所在地】 四日市市赤堀2丁目3-29

【業 種】 食品の検査・分析

【従業員数】 102人（10月1日現在）

主な表彰理由

・女性の能力を活用

機会均等の姿勢を保ち、性別にこだわることなく募集、採用を実施してきた結果、女性が全職員数の（非正規雇用を含む）80%超となった。すべての部門に女性職員を配置しており、女性正規職員の80%は検査部門に所属している。

女性の平均勤続年数は、まだ約4年と短いので管理職への登用はあまり進んでいないものの昨年度2名、本年度2名を管理職へ登用しており、部門リーダーにおいては、61.5%が女性であり、今後も積極的に増やしていくことを目標としている。

退職した職員の再雇用を進める「ジョブリターン制度」を設け、出産や介護、配偶者の転勤等で離職した職員の職場復帰を進めることにより、女性のもつ能力やスキルを活用している。

・働きやすい環境づくりための工夫

「ワーク・ライフ・バランスプロジェクトチーム」を結成し、さまざまな改革を進めている。メンバーの多くは女性であるが、男性も参画している。たとえば、検査部門では業務の性質上、残業が必要なケースが多いが、独自の改善方式により推進し、業務の効率化を行うことにより残業削減に努め成果を上げている。年に数回、職員満足度調査を実施し、結果をオープンにし改善につなげている。

また、「ストック休暇」制度を設け、2年を経過して取得しなかった有給休暇を積み立て、必要に応じて療養や育児、介護、ボランティア活動などのために取得できるようにしている。

・「仕事」と「家庭」（出産・育児や介護）の両立の推進

過去3年で5人の職員が育児休業を取得しており、現在、取得率、復帰率100%であり制度が定着している。育児・介護休業取得者の職場復帰支援のために、定期的開催される社内勉強会の資料を送付し情報提供を行っている。育児休業中の職員に対しては、職務に関する情報、育児や保育所に関する情報も提供するほか、必要に応じて「休業中能力アップコース」講習を実施し、円滑な職場復帰を支援している。また、男性の育児参加に向けたアンケートも実施し、活動方針の参考にしている。

休業・休暇取得に伴う欠員については、部門を越えて協力し、業務に支障のないようにするなど職員の休暇を取りやすくする工夫がされている。

平成22年度「男女が生き生きと働いている企業」三重県知事表彰選考委員会委員

(特) 女性と仕事研究所	金谷千慧子	連合三重	金森美智子
立教大学	山極 清子	三重県男女共同参画センター	柏木はるみ
三重短期大学	東福寺一郎	三重労働局雇用均等室	鈴木 里美
中日新聞社編集局生活部	野村由美子	鈴鹿市生活安全部	島村 悟
三重県中小企業レディース中央会	伊藤 恵子	三重県生活・文化部	大西 春暢
(株) キャリア・プレイス	伊藤登代子		《順不同・敬称略》

男女がいきいきと働いている企業